

第 8 4 期名人戦七番勝負実施提案施設公募事業 仕様書

本仕様書は、「第 8 4 期名人戦七番勝負実施提案施設公募事業」（以下本事業という。）について適用する。

1 目的

本事業は、白浜町の魅力を広く町内外に広報するため、第 8 4 期名人戦七番勝負の誘致を目的として実施するものです。なお、本事業は第 8 4 期名人戦七番勝負の応募書類作成のため行うものであり、誘致が成功した場合においてのみ、候補者と調整の上、事業実施の契約を締結します。

2 業務の概要

- (1) 業 務 名 第 8 4 期名人戦七番勝負実施提案施設公募事業
- (2) 契約期間 契約締結日から令和 8 年 9 月 3 0 日まで
- (3) 業務範囲 主な業務項目は、下記のとおりとし、各種仕様は別紙参考のこと。
※会場の設営及び必要備品の貸出を含む。

①名人戦

②大盤解説

③前夜祭

立食パーティ形式開催一式。

④宿泊

2 食付き 3 泊（約 4 0 名予定）

※名人、挑戦者、立会人の 3 名は特別室。

⑤送迎

公共交通機関（南紀白浜空港を想定）と開催施設の往復送迎。

3 その他

- (1) 一部業務の外注及び、複数の事業者による提案は可能とします。その場合は、提案の代表者を決め、代表提案を行ってください。その際は各事業者の役割分担が分かるように記載してください。
- (2) 本事業は第 8 4 期名人戦七番勝負の応募書類作成のため行うものであり、名人戦誘致の可否は未定です。また、誘致が成功した場合においても名人戦の特性上、5～7 戦目の会場に選定された際には、勝敗数次第で開催されない場合があります。上記の場合においてキャンセル料、違約金等の金銭の支払いはいたしませんのでご了承の上応募してください。
- (3) 委員会による応募後、7～9 月の期間で名人戦実行委員会（日本将棋連盟内）による下見が行われますのでご協力をください。
- (4) 本仕様書に定めのない事項及び業務遂行上疑義が生じた場合は、発注者と受託者で協議し、進めることとします。

別紙

施設名	広さ	備考
対局室	12 畳以上	●床の間付きの和室で 1 2 畳以上の広さが必要。「次の間」付きが望ましい。 ●窓があり、外を眺められる環境が望ましい。 ●外部の音が入らない静寂な環境である。 ●温度の調整ができる（部屋専用の空調を備えていることが望ましい）。 ●トイレが近くに必要（洗面所に鏡があることが望ましい）。対局中は、対局者専用に行けるのが望ましい。 ●中継用のカメラを設置するための檣（やぐら）を組めるよう、天井は 2 m 以上の高さが必要。 ●湯茶のサービスができるように、厨房機能が近くに備わっている。
対局者控え室	6 畳程度 × 2 室 (和洋不問)	●対局室の近くに、名人、挑戦者それぞれ 1 室。 ●着物をかける和服用ハンガーや姿見（鏡）、座布団、座卓などが必要。 ●2 室は隣接せず、多少離れているほうが望ましい。 ●静寂、温度調節など、対局室に準ずる条件を満たす。
検討室	20 畳程度	●最大 20 人程度を収容できる ●対局室に声が聞こえないよう、多少距離を取る。 ●インターネット回線を引ける。（回線は名人戦実行委員会が手配） ●中継モニターを設置できる。（ケーブルを配線できる）
取材本部 (記者室)	20 畳以上	●対局室に声が聞こえないよう、多少距離を取るほうがよい。 ●インターネット回線が必須。（朝日、毎日各社が手配） ●中継モニターを設置できる。（ケーブルを配線できる） ※検討室と取材本部は広めの部屋 1 部屋で共通して使用できることが望ましく、広めの部屋を確保することが難しい場合はできるだけ隣接した 2 部屋を使用。
中継本部	12 畳以上	●対局室に声が聞こえないよう、多少距離を取るほうがよい。 ●インターネット回線が必須。（毎日、朝日各社が手配）

施設名	広さ	備考
大盤解説会場		● 300人以上収容できることが望ましい。 ※ 400～500人収容できればなお良い。 ● 和室（座布団席）でも、洋室（椅子席）でも、スロープ式の（客席が階段状になった）ホールでも可能。 ● 解説用の大盤（大きな将棋盤）が見やすいよう、スロープ式ホールを除き高さ（60cm以上）のあるステージは必須条件です。 ● 中継モニターを設置できる。（対局室からケーブルを配線できる、あるいはインターネット回線がある）
前夜祭		● 200～300人程度収容。 ※ 前夜祭開催と大盤解説会ステージ付近の準備時間帯が重なるため、会場は兼用できません。